

祝賀会オープニング



まぐろ入刃

祝賀会



「委員長〜!!」50周年PRマスコットの被り物が投げ込まれ、山縣実行委員長がそれを被り挨拶を行った。その風景を私は司会席から見つめ感極まった。ここに50周年が幕を閉じた。

思い返せば余興でのマグロの解体案は案外簡単に決まった。その反面、委員会を始め、会議所メンバー全員を巻き込む大変な物となった気がする。

山口会議から50周年のPR活動が始まり、6月30日までの間、県内各ロムの例会にお邪魔させてもらった。祝賀会のPRイコールマグロの解体、これを浸透させるため誕生した50周年PRマスコットボーイ、県内各ロムの例会会場を凍りつかせてばかりだった。マグロボーイの苦闘は計り知れないものだったに違いない。

苦難の末、生み出された 萩JC、いや 県内JCの今年一番の流行語大賞「お待ちしておりマグロ!!」委員長の快心の一策だろう。そして萩JCのメンバーの皆さんを巻き込んだ DVD「鮪」。

会場の皆さんの視線を独占していたのをこの目で確認でき最高の気分だった。会場設営も、理事長のおもいを忠実に表現した「萩らしさ」をかもし出した最高の雰囲気であった。PR活動から当日の式典、そして祝賀会を通して萩青年会議所50周年は萩の町並みのイメージ、そしてマグロという二つの柱をこの一年近くの間貫き通してこれたのではないのでしょうか？ 言うまでも無く、これは会員皆様のおかげであります。一致団結し、その力が何倍にも膨れ上がりその結果県内に萩青年会議所の力を見せ付けることが出来たと思います。

今年運よく50周年という大きな節目のときにこの萩青年会議所に所属しており、さらに実行委員会の一員となれ活動してこれた事、大変な幸運に恵まれたと感じております。

皆様のご協力に感謝もうしあげます。大変お疲れ様でした。

50周年実行委員会委員 烏田 栄二



OBもご満悦!

